「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

中学校の時に少し読むぐらいだったが、高校に入ってから、まったく読めておらず、ニュースとかはネットのニュースから情報を取り入れていたので今回の講演を聞いてまた読んでみようかという気持ちが出てきた。新聞記者という仕事は忙しそうなのは分かるが1日分の新聞を作るのに予想以上の人や記者が関わっていてとても驚いた。他にも移動だったりがとても多く大変な職業であるのが分かった。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

新聞記者の人は、自分の専門外のことや、経験したことのないもの、場所へ行って取材をしなければならないことが、記者の方の話をきく中で、より感じられました。

初めて訪れる場所で、初対面の人と会話をし、記事に書けるようなことを訊かなければいけないし、自分には到底できないことだと思います。また、記事を書くのも、1人ではなくて、多くの人とつくっていくと聞いて、今私たちがグループワークをする中で、他の人とコミュニケーションを適切にとったりなど、協調性を高めていくことが必要なんだな、と思いました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

早川さんのお話をきいて、新聞記者の仕事は大変だと思いました。新聞記者になるには、さまざまな知識や話す力・聴く力が大切のではないかと感じました。1日の新聞は、数千人の人々の力で作られていることを初めて知りました。それを知ると、新聞1枚1枚きちんと読み、難しそうだからと言って読みとばさないようにしようと思いました。

早川さんが言われていたように、高校生である今、自分のやりたいことをしたり、勉強を精一杯頑張りたいと思います。後悔しないようにしたいです。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

新聞の話を聞けることがあまりないので今回聞くことができとても良い経験になりました。早川さんの仕事のこれまでを見てみて、転勤が多いなと思いました。これまでいろいろな所へ出向いてたくさんの人から話を聞いたり、数々の経験をしてきているんだなと思いとてもすごいなと思いました。今では有名になって色々な活躍をしている方の取材もまだ有名になっていない時にできるのは記者特有だと思うので良い仕事だなと思いました。私の家でも新聞はとっているので今回の話を聞いてみて読んでみようかなと思います。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

新聞記者でも事件・事故を調査する人、芸能人を調査する人
いと、いろいろなことを調査するんだなあと思いました。時間を
かけてつくられた地元の記事などは特におもしろそう
なので読んでみたいなと思いました。私の家族は
誰も新聞を読まなくて新聞をとっていないので、
おばあちゃんの家に行ったときや学校の休み時間など
たまには読んでみようと思います。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

1つの新聞をつくるのに、たくさんの人が関わっていることを知り、
驚きました。更に、記事の為に2日寝ずに取材し続けた
エピソードには、とても責任感を感じる職業だと思います。
私の家では、ずっと新聞をとり続けているのですが、自分
はたまにしかちゃんと読んだりしていないので、これからは
少しずつでも読んでみようかなと思いました。新聞記者
は、いろんな体験ができるため、自分の人生も豊かになる
と思います。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

今日お話を聞くまで新聞記者は記事を書くだけだと思っていました。記者は他にいて、別々なんだと思っていました。同じ人と考えたらとても大変だと思いました。けっこう夜に仕事で大変だと思いました。文章を考えて書くのが好きなほうなので楽しそうでした。将来の仕事の1つのこうほに入れたいと思いました。自分の書いた記事が社会に影響を与えるのはとてもすごいと思いました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

新聞記者の仕事は、思っていた何倍も大変そうだと思いました。1日のスケジュールが詰まっていて、寝る時間も日付を回ることがある生活は私にはできないなと思いました。また、私は今まで新聞は今の社会の状況を読み手に伝える役割だけしかないと思っていたけど、新聞がきっかけで社会を変えることがあるということを初めて知り、驚きました。今日の講演を聞いて、全然知らなかった新聞記者について、詳しく知れて良かったです。今までではほとんど新聞を読んでいなかったけど、たくさんの人の手によって作られていると知り、読んでみようと思いました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

新聞は普段あまり読みませんが、今回の話を聞いて、少し読んでみようかなと思いました。新聞記者の仕事は、とてもしんどそうだなとも思いました。とても良い話を聞くことができてよかったです。最後にこの公演会が明日の新聞記事になると聞いて少し驚きました。今日の公演会はとても興味深い話が聞けました。良かったです。ありがとうございました。僕も新聞を読んでみようと思います。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

僕は新聞を読みたいと思ったし
新聞を読むことで色んな情報や教養
を身につけて知識をつけたいと思いました。
英字新聞などを読んで英語の勉強をした
りするのもいいなと思いました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

講演を聞いて、色んな取材の体験談の中でも、災害が起きたときには
いち早く現場に取材をして情報を届けているという話が心に残りま
した。たくさんの危険や楽しみ、達成感を背負いながら記事を書
いたり、取材をしたりしていてすごいと思いました。最後の質問で
早川さんが興味の無いことでも、一通り経験しているだけで違って
世見を見ることができていただろうな、と言っていた後悔を聞
いて、私も早川さんの後悔をむだにしないように、
たくさんの挑戦をしておこうと思えました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

自分の家は新聞をとっていますが、僕はあまり読んだことが
ないです。新聞記者の話を聞くのは2回目でしたが、前の
新聞記者さんの話とは内容が違っていておもしろかったです。
新聞記者の人は転勤がとても多いと分かりました。
しょうぎの取材の時にたくさんの記者が集まっていましたが、あれだけの人
がいたけれど、同じ会社の人がいないのが気になりました。
これから時間があったら新聞を読んでみようかなと思い
ました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

新聞記者の方のお話を聞く機会など今までになかったのでとても興味深い話をきくことができました。毎日毎日新聞を出したりするのでとても忙しいんじゃないかなと思いました。全員で400～500人ほどで1冊を書くというのは人数が思っていたよりもずっと多くてびっくりしました。新聞を書くには今の世の中の流れをしっかりかかっていたり、文章力がないと書けないと思うのですごいなと思いました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

新聞というのは取材して、書いて、配達をして完成というとても人の手が関わって気持ちの繋がった素敵なものだと思いました。コラムや豆知識を私は何度か読んだことがあり、面白かったです。私の家庭では新聞はとっていないので新聞に触れる機会は少ないけれど今日の話を聞いて新聞を読むのもいいと思いました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

報道の分野は個人的に興味のあるところで、実際に記者として働く方のお話をきけて楽しかったです。
新聞で報じられることによって社会の誤りが正されていくことがあるというのはすごいし、報道の力を感じました。
また、歴史的な場面に立ち会えるというのも魅力的だと思いました。
とても大変な仕事なのだろうけど、より興味が湧きました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

僕の家では新聞をとっていなくて、祖父の家でたまに読むぐらいですが、小、中学生のころは、自分の興味のある部分以外は、使われている言葉も漢字が多くて読む気にはなりませんでした。
しかし、今日の講演を聞いて、1冊の新聞に、たくさんの記者の方が各地を動し記事をとってくれていることを考えれば、僕も読んでみようかなという気持ちになりました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

滅多に新聞記者の方のお話を聞くことがないので、とても貴重な話を聞かせて頂くことができてとてもありがたいです。たった1日の新聞だけで数百名もの人が関わっていると聞き、とても驚きました。また、深く掘り下げた記事を書くのに約1か月もかかるのと反対に、たった1日や数時間で記事を書くのは普通の人には難しいことだと思うので、流石プロだなと思いました。あまり新聞を読むことがなかったですが、少し手にとってみようかなと思います。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

今日、早川さんの新聞記者の仕事についてのお話を聞いて、いままで私はあまり新聞を読んだことがなくて、学校の課題で読むくらいだったけど、今日の話を聞いて、新聞記者の仕事だけでなく、新聞にどんなことが書かれているのかも知れました。

新聞記者の仕事に、こういう記事を書くという分担みたいなのがあったり、事件があったりしたときはすぐに現場に行くとか、いろんなことが知れました。

新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

普段、全然新聞は読みません。読む時間がないし、単純に興味がないからです。でも今回の講演会のお話をきいて時間をつくって新聞を読んでみようと思いました。様々な記事が紹介されていて面白そうなものがたくさんあって、きっと今まで読もうとしていなかっただけで新聞からたくさんの発見が得られることに気づきました。その発見がこれからの人生を豊かにするだろうし、その発見を誰かに伝えることでコミュニケーションの輪も広がるなと感じました。新聞記者の方は夜通しでインタビューなど大変なこともあるけれど様々な人と出会って様々な話が聞けるとても素敵な職業だと感じました。

新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

私の家は新聞を取っていなくて、新聞を読む機会がなく、私自身、新聞に興味がありませんでした。でも、絵の具で絵を描くときなど、画用紙の下に新聞をいくので、四コママンガの部分や、目を引かれた短い記事を読むことはありました。記事を書くのに何人もの記者と時間がいることがわかりました。新聞を読むことで今世界で何が起こっているのかわかるし、文章を読む力もつくと思うので、何かを包んだりするのに使うのではなく、興味を持って読んでみようと思いました。